

2. 目標達成計画

事業所名 (有) 中田介護事業所 グループホームよもぎ

作成日 平成27年9月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	「看取り、重度化した場合における対応に係る指針」を作成しているが、契約時に詳細な内容説明をせず、口頭のみ説明になっている。	契約時に「看取り、重度化した場合における対応に係る指針」の説明を行い、家人、入居者の意向を確認する。	契約時に「看取り、重度化した場合における対応に係る指針」について説明し、出来る事と、出来ない事を明確にする。又、理解と納得を得た上で同意書をかかわす。	3 か月
1	35	非常災害時に速やかに避難が出来る様に、職員間で避難誘導方法や役割分担等、周知する事が望まれる。又、水、食料、備品等災害に備えた備蓄が出来ていない。	・年2回の訓練以外にも避難誘導の方法や経路等の確認、周知を全職員に図る。 ・また災害に備えた備蓄を1週間分用意する	・年2回の訓練以外に、半年に1回避難誘導方法や避難経路、役割分担等の再確認、周知を図る。 ・水、非常食（1週間分）ガスコンロ、ガスボンベ、電池、ランタン、PWC 消臭液、ラジオ等の備蓄を行う。	3 か月
2	4	運営推進会議の内容や意義に対する、家族の理解を深める事が望まれる。	運営推進会議の内容や意義に対する家人の理解を深めてもらう為、より多くの家人に参加を募る。又、知見者も検討する。	・会議の中で話し合った内容やその中で出た参加者の意見、その回答を会議録へまとめ、毎月のお便りと一緒に家人へ送付し、ご家族の理解を深める。 ・運営推進会議の開催日を毎回文書にてお知らせし、参加を募る。 ・家人、知見者が参加出来る日に開催日を変更する。	6 カ月
2	26	「施設サービス計画書」「個別援助計画」に基づいたサービスの実施状況、短期目標の達成度、評価の根拠が明確になる様なモニタリングの様式が望まれる。	「施設サービス計画書」「個別援助計画」に基づいたサービスの実施状況、短期目標の達成度、評価の根拠が明確になる様なモニタリングの様式に作成する。	「施設サービス計画書」「個別援助計画」に基づいたサービスの実施状況、短期目標の達成度等の、評価の根拠を明確化する。	6 カ月
3	1	密着型サービスとしての意義や役割を理念に盛り込む事が望まれる。	地域密着型サービスとしての意義や役割を含めた理念の構築、実践する為の具体的な方法を明確化し、実践する。	9月、10月中にフロア会議の中で職員全員で話し合い、地域密着型サービスとしての意義や役割を理念に盛り込む。出来た理念は、毎日出勤者で唱和し共有する。	3 か月
4	49	普段行けない様な場所への外出が望まれる。	入居者の希望を把握し、家人と地域の人々と協力しながら遠足レクを計画する。	日常的な外出レク以外に、年1～2回遠方（遠足）へ外出する。又、その際は家人にも参加を募り、協力を得る。	1 2 カ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。